

# 事務事業評価表

## 1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		担い手育成支援事業		担当課	農業振興課	担当係	農業政策係	管理番号	3711
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	1	農業のブランドを高め伝えるまちづくり	根拠法令 個別計画等	深谷市新規就農総合支援事業費補助金交付要綱				
	小項目	1	農地の保全・活用と安定した農業経営の支援						
	主要プロジェクト	2	シニアが輝くふかやプロジェクト						
事業概要		認定農業者及び認定新規農業者に関する事務、新規就農希望者に関する相談・支援及び女性農業者を対象とした研修会等に関する事務である。							
目的 ※何のために		新たな担い手の確保及び効率的かつ安定的な農業経営を育成するため							
対象 ※誰・何を対象に		認定農業者、認定新規農業者及び女性農業者							
手段 ※どのように		相談・支援及び補助金を交付する。							
成果 ※何を求めるか		新規就農者の速やかな就農の支援及び認定農業者等の安定的な農業経営							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )							
事務事業を構成する 予算事業		区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)	
		一般会計	6 農林水産業費	1 農業費	5 農業後継者対策費	担い手育成支援事業		28,949,541	
本事業の 主な業務		・農業女性講座の開催				・			
		・認定農業者等への補助金の交付				・			
		・経営改善計画の認定				・			
		・農業制度資金等の利子補給				・			
		・				・			

## 2. 事業費(投入コスト)

単位:円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
年度別計画		・視察、研修会の開催・補助金の交付・経営改善計画の認定	・研修会の開催・補助金の交付・経営改善計画の認定	・講座の開催・補助金の交付・経営改善計画の認定	・講座の開催・補助金の交付・経営改善計画の認定	・補助金の交付・経営改善計画の認定・農業制度資金等利子補給	・補助金の交付・経営改善計画の認定・農業制度資金等利子補給	
事業費	予算(現額)	29,315,000	26,016,000	18,979,000	15,021,000	30,107,000	37,550,000	
	決算額	29,201,949	25,987,580	16,064,751	13,622,731	28,949,541	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	500,000
		県支出金	17,064,000	19,807,000	11,194,111	10,264,000	16,558,000	26,008,000
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	7,719,486	0	0	0	5,803,000	0
一般財源		4,418,463	6,180,580	4,870,640	3,358,731	6,588,541	11,042,000	
人件費	従事職員数(人)	0.63	1.81	1.61	1.76	2.12	2.59	
	人件費相当試算※	4,900,770	14,085,420	12,656,210	14,319,360	16,455,260	21,060,191	
総事業費試算		34,102,719	40,073,000	28,720,961	27,942,091	45,404,801	58,610,191	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

### 3. 評価指標

区分	指標名	目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
活動指標 1	担い手育成協議会（現 農業再生協議会）へ補助金交付	目標値	千円	200	200	200	200	200	0
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		農業再生協議会（担い手育成部門）の事業計画により変わるため目標値を設定しない / 支出命令等による						
活動指標 2	生産基盤整備等補助金交付	目標値	千円	5743	5735	4411	2623	6798	0
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		対象者をコントロールできないため目標値を設定しない / 支出命令等による						
成果指標 1	新規就農者数	目標値	人	0	20	20	20	20	20
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		平成29年度人数を目標値とする / 新規就農者名簿（県より）						
成果指標 2	認定農業者数	目標値	人	449	434	417	422	415	0
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所		対象者をコントロールできないため目標値を設定しない / 認定農業者一覧						
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								
		目標値							
		実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所								

### 4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
 目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
 事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
 （評価基準）（A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない）

#### （1）事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	担い手育成協議会（現 農業再生協議会）への補助金交付額は、200,000円であった。 農業用生産基盤整備等活動補助金交付額は、6,798,000円であった。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	B	令和3年度の新規就農者数は、30人であった。
			評価者 農業政策係長 秋山 康晴

#### （2）事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
 （評価基準）（A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない）

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	担い手育成塾の事業主体（事務局）を農協が担うことによって、事務負担の増加を抑制しつつ、成果を高めることにより、事業の効率化が図れた。
			評価者 農業政策係長 秋山 康晴

## 5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	新規就農者の早期自立及び経営発展を目的とした担い手育成塾が休眠状態であるため、実施主体及び運営方法等の見直しを実施する。
達成状況及び その効果	既存の担い手育成塾を廃止し、地域の特性を生かした花園農業を事業主体とする「明日の農業担い手育成塾はなぞの校」の設立について、関係機関と連携し支援した。育成塾の設立により、新規就農者の確保及び早期自立並びに経営発展が図れる。

## 6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	担い手育成支援事業	担当課	農業振興課	担当係	農業政策係	管理番号	3711
<input checked="" type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入) <input type="checkbox"/> ②現状のまま継続 <input type="checkbox"/> ③見直して継続 <input type="checkbox"/> ④目的達成による終了 <input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討		<b>評価の内容説明</b> 新規就農者の確保並びに早期自立及び経営発展について、更に促進するため、はなぞの校へ運営支援を実施するとともに、ふかや及び埼玉岡部農協を事業主体とする育成塾の設立を推進することが望ましい。					
<input type="checkbox"/> 委託化等の検討 <input type="checkbox"/> 成果向上のための改善 <input type="checkbox"/> 効率化のための改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の縮小 <input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合		<b>評価者</b> 次長兼農業振興課長 三ツ橋 正記					
上記を実施するための具体的な取組内容は？							

## 7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	新規就農者の確保並びに早期自立及び経営発展を促進するため、ふかや農協、埼玉岡部農協を事業主体とする育成塾の設立に向けて、各農協及び関係機関と協議を実施していく。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	ふかや農協、埼玉岡部農協を事業主体とする育成塾の設立を支援、推進する。

## 8. 評価指標グラフ

